

新聞雜誌

明治壬申八月

第五十八號

定價二匁



特	別
18	
787	
58	



緒言

凡天下ノ物事日ニ新ナルニ我未タ見聞セサルヲ知テ吾知識ヲ廣ムルヨリ
 樂シキハナシ見聞ノ狭キ田舎人ハ心頑ニ知暗シテ疑懼ムク多ク竟ニ我ヲ
 是トシ人ヲ非トスルノ過アリ今日カハ辱キ 御代ニ逢ヒテモ遠境ノ人ハ
 大政ノサマヲモ知ラズ却テ疑非ル者モアルベシカクテハ逢カ多キ世ニ生レシカト
 ナシ今 官許ヲ受テ新聞私局ヲ開キ 大政ヲ始メ諸府諸縣ノ變革
 又ハ里巷ノ瑣事外國ノ異聞マテ見聞ニ隨ヒ刊行スルハ我 日本國中
 ノ人々ト新知ヲ開ク樂ヲ同シ頑タル心僻ノ事ヲ棄ントテテリ願ハ此冊子
 ヲ讀玉フ人々ヲ聞テニヲ推シ近ヲ知テ遠ヲ察シ天地間ニ我意外ナ驚愕ヲ
 喜可事多ク唯一隅耳ヲ見ル田舎人タルヲ免レヌ夏虫氷ヲ疑ノ笑有リト知
 玉ヘサテノ復古ノ 大御代ニ生レシ人タルニ負カシト云ヘケレ

新聞雜誌第五十八號 明治五年壬申



○自今神官ノ輩總テ教導職ニ補セラルヘキ条八月上
 旬御布令アリタリ

○今般陸軍省ヨリ各府縣ニ御達シニ當省兵學寮教導
 團生徒欠負コレアリ候ニ付各府縣士族卒庶人共當時
 在京右入團志願ノ者候ハ、早々同寮へ可願出此旨相
 違候事

追テ團中教授規則等義知致シ度候ハ、本人直ニ同
 寮へ罷出兼リ合セノ儀不苦候事

任陸軍元帥兼參議

參議

西卿隆盛

○今般日比谷御門始ノ外郭二十一門廢撤ノ儀仰出サレタリ

○八月上旬大藏省ヨリ各府縣へ御達シニ舊藩造幣準備金ノ内現高ノ分納方ノ儀當二月二十九日相達シ置候處右準備ノ内藩札ヲ以備置候分相納候向ハ正金金札同様東京ハ兩替町為換方大坂ハ同所出張為換座三井組為換方ノ内へ持參相預ケ者預リ手形ヲ以紙幣察へ相納可申尤價格比較表ニ照準シ租税金同様糊封ノ上各種内譯相場金高等精細目錄添上納可致事

但散布不致府廳現在札引換未消札並全備致シ未發行札ノ類ハ都テ本文準備札同様東京大坂兩所ノ内便利ノ方へ相納可申事

○同上御達シニ舊藩々製造ノ札各種一通リツ、可差出旨當五月止五日相達候處猶至急御入用有之候間御一新前後製造ノ差別ナク手摺レ汚レコレナキ文字押印等發輝ト相分候分各種ニ々通リツ、往返日數ヲ除外十日ヲ限り當省へ可差出事

但當五月止五日相達候分ト都合三通リト相心得可差出右三通分ノ代金ハ新札ヲ以可下渡条價格比較

表ノ價位ヲ以受取方可申出事

○此節府下ニ新紙幣五圓ノ質札ヲリ表裏上ノ方割印
并明治通寶ノ文字薄クコスレハ消ユルトハ由右様ノ
札取扱ヒタルモノハ其小區へ通達致スベキ旨區長ヨ
リ世話掛へ沙汰相成タリ

○搥頭關字ノ儀ニ付式部寮ヨリ明法寮へ答書寫

搥頭關字ノ儀先般御問合有之候處右ハ御一新後未タ
一定ノ御規則モ無之自今記録ニハ左院見込ノ通り總
テ搥頭平關等ハ不相用様御治定相成候条此段及御回
答候也

左院見込書ノ寫

別紙明法寮ヨリ伺出候搥頭平出關字等ノ儀熟議
勅辨仕候處關字平出ノ例ハ支那六朝以前ニハ見及ハ
ス隋唐ノ代ヨリ初テ著令トナリシヲ本邦之ニ模倣シ
テ大宝令ニモ著サレシナリ去レト舍人親王ノ日本書
紀太安麻呂ノ古事記共ニ此例ヲ用ヒス〔六國史中文德
實錄以下始メテ平關アリ〕ニ書ハ大宝以後ノ著述ナレ
ルモ猶カクノ如シ然ラハ令文ハ虛設ニテ世間通用ニ非
サリシヲ知ルヘシ〔此事ニ限ラス都テ大宝令ハ唐六典
等ヲ模シタル迄ニテ實事ニ行ハレサル事多キナリソ

ハ支那ニモ周礼等ノ書多クハ虚文ナル由先輩モ論セ
リ水戸藩大日本史ヲ編ムニ及テ平闕ノ例ヲ除キシハ
紀記ノ体ニ基^キキシト云フ或説ニ刊行ノ書ハ別段ナリ
ト雖^レ凡古文書又ハ公郷方ノ家記日記等ニモ此例アル
ヲ見ス夫レ平闕ハ臣子上ヲ敬スルノ意ヨリ出レハ必
シモ禁止スルニハ及ハス但シコレヲ定令トスル^レハ
誤テ犯ス者ハ不敬ニ^ツ陥ル若シ一ニ其誤犯ヲ正サハ事
務ノ障^サ害ヲ生スハシ古語ニモ臨文不諱トイヘリ且ツ
文字ハ言語ヲ寫スモノナラスヤ言語ニ平闕ナケレハ
文字ニ限リ平闕スルノ理ナシ況ヤ和漢トモニ中古以

前ニコレナク全ク後世ノ繁文縟^ソ礼ヨリ起リシ事ナレ
ハ自今此例ヲ除テ古礼ノ簡易ニ復シ候方然ルヘクト
存候事

○府下小石川金杉水道町ニ住セル針按摩渡世宮澤三
平倅保次郎ナル者齡十五才ニナリシカ説教又ハ空説
巷話ヲ聞キ大ニ^{ハツ}奮^ンシ洋學ニ志スト雖^レ凡家^ノ極^メテ貧
ナレハ^ト迎^テモ學費ヲ出シテ入塾スルノ手段ナク或日一
封ノ願書ヲ認メ府下ノ諸塾ニ到リ學僕トナリテ脩行
セシ^テヲ乞ヘ氏^ノ孰^レノ塾ニモタヤスク請合サリシカ
本郷壹岐坂上壬申義塾教師大熊春告ナル者其篤志ヲ

感シ學費ヲ受スシテ入塾ヲ許セシト云保次郎陋巷貧
窶ノ間ニ生長シ其學ニ志スノ厚キ此ノ如シ世ノ生徒
若干ノ學費ヲ得テ入校シ或ハ課業ヲ怠リ放蕩ニ流ル
、者ハ此談ヲ聞テ頂門ノ一針トスヘシ

○諸省内ニ弱年ノ者給仕ト唱ヘ使役セラル、モノ多シ
憇惜ニ堪エサルナリ現今女兒スラ學ニ就カシメ知識
ヲ廣ムルノ時ナルニ少年ヲ使役シテ歲月ヲ徒過スル
ハ養才ノ道ヲ害シ開蒙ノ教ヲ損スルナリ其父母タル
者固ヨリ之レヲ教育センヲ欲スレ歟或ハ目前ノ貧困
ニ逼リ已ムコトヲ得スシテ少壯學ヲヘキノ期ヲアヤマ

ルニ到ル憐ムヘキコトナリ

○近來西京ニテ盆栽ノ萬年青最モ流行シ一莖ノ價五
十圓ヨリ四五百圓ニ騰レリ又愛知縣ニテハ養蠶閑々
シヨリ猫ノ價殆ント五六圓ニ至レリト云

○英國留學生ヨリ來書中ニ泰西人極メテ花卉ヲ愛シ
遠ク各國ノ異種ヲ移植ス日本ハ氣候清和ニシテ花卉
頗ル多キヲ羨賞シテ富花王國ト稱セリ

○先般神奈川縣ヨリ大藏省ヘ差出セシ阿片煙十管ハ
関港場揭示ノ御趣旨モ之レアリ御國憲ニ觸レタル義
ニ付中外人民齎集ノ場ニ於テ断然燒棄テ本犯人ハ新

律ニ照準シ聊モ假借セス處断シ將來ヲ懲戒スヘキ旨
更ニ同縣へ御達シ相ナリタリ

○愛知新聞ニ岐阜縣下大野郡下方村舟子幸吉ナル者
川船ニ石炭ヲ積ミ笠松川ヲ通りシ折柄南風烈シカリ
シカハ帆ヲ下サントスルニ帆網キレ誤テ電機ニ觸レ
線ヲ断タリ幸吉驚キ自ラ訴へ出シ力直ニ入牢セシト
又同縣赤坂西晝飯村ニテ幼見三人^{十一歳十歳七歳}電線へ
止リシ燕子ヲ捕ントテ礮ヲ打テ誤テ磁器ヲ破リタル
ニヨリ入牢セシトノ説アリ先頃東海道筋ニテ傳線ニ
草鞋ヲカケ磁器へ礮ヲ打テ障礙ヲナスモノアリ其便

利ヲ妨ケ官命ヲ奉セサル真ニ可憎ト雖氏幸吉幼見ノ
如キハ全ク誤リテ損セシナレハ深ク罪スヘキニ非
サルハシ况ヤ知兒ノ入牢ハ尤モ痛マシキナラスヤ
○或人ノ話ニ先頃新瀉縣ニテ博覽會ノ設ケアリシ處
天造人為珍奇ノ物品余程蒐集セリ中ニモ同縣姿見村
不動尊ハ天竺ヨリ渡来シ叡山ニ安置セシカ何ノ頃ニ
ヤ首ハカリ此ノ姿見村ニ来レリト云然ルニ數萬ノ觀
客賽錢ヲ投ケ之レヲ尊崇スルニヨリ更ニ一場ヲ設テ
開帳ヲナシ博覽會ハ終ニヨリニナレリト
○今般大藏省ヨリ横濱運上所エ御達シニ銅錢輸出嚴

禁ノ儀ハ各國御條約面掲載有之決テ輸出不相成筈ノ
處支那地方ニ御國鑄造ノ銅錢多分融通致シ居候處昨
年中銅錢諸種價格御確定相成候ニ付當今彼地所存ノ
分買集メ内地ヘ向ケ輸入ヲ謀リ候趣右ハ最前銅錢各
種品位未定ノ際ニ當リ内國奸商共法ヲ犯シ密送メタ
シ候儀ニ可有之候條然御條約面ニヨリ密商品ト見
据可致所置且亦近來清國通用ノ銅錢追々内地ニ散布
シ彼我取交流通イタシ候趣相聞以ノ外ノ事ニ候條向
後彼我銅錢トモ輸出入ノ儀一層注意可致候事

○府下馬喰町四丁目魚店大坂屋治兵衛方工僑居セル下

総石見郡刈屋村醫安藤一郎ノ下僕竹内謙ニ主人ノ留
守ヲ窺ヒ衣類諸器金札等盜ニ取り遁去タリ右謙ニハ

元陸中仙臺立野村光明寺僧願閑ト云者ナル由

○魯西亞公子來着ノ節府下招魂社地内ニ於テ馳走ノ
為メ競馬ノ設ケアル由ニテ元靜岡縣士族某馬術達者
ナレハ其人撰ニ加ハリタリ然ルニ同人當時俳優某ノ
送り下男ナレハトテ如何ナル譯ニヤ四民同權ノ今日
ナレ氏遂ニ除名相ナリシトゾ

○新吉原京町ニ住セル茶屋渡世橋屋某舊業ヲ改メ本
町邊ニ唐物店ヲ開ケリ某ハ元名見崎某トイヘル三味

線ヒキニテ素ヨリ商賣ノ道ニ手馴レサルヲナレハ俄
ニハ算見一ヨリ 算術ヲ習ヒ始メシト云彼淫蕩ノ地
ニ淪落スルヲ殆ント四十餘年然ルニ一旦悔悟シ人ノ
鼻息ヲ仰スシテ自主ノ生業ヲ營ムニ至ル迄頃奇特ノ
一氏ナリ

○先般小笠原長行謝罪表ヲ奉リシ處邇日謹慎御免相
ナリタル由

○八月十三日曉四字頃地震迄来稀ナル震動ニテ人々
戶外エ遁レ出シ程ナリ

新聞雜誌第五十八號 終

報告

○泰西人某獨逸英二國ノ學術ヲ我國人へ教授セント
テ府下築地四十一番獨逸岡士館ハールレンス社中へ
キタレリ若シ教師ヲ招請セントスル者ハ就テ尋問
スヘシ

○今般西洋各國ノ真景ヲ目鏡ニ仕組ミ珍奇草木器械
人種ノ異同或ハ亞國ブレケル山ノ戦ヒ倫敦大學校
巴里雪中勝景普國ノ王宮等世界各國ノ萬象開覽ノ
仕掛ケ出来セリ新渡ノ新圖追々入レカへ入御覽候
間四方ノ君子瀏覽アランヲコレ願フ

小川町表神保小路北側
同好舎主人白

○仕方塵劫記 菅谷正直著

無算ノ人事ヲ欠クヲ愁ヒ志ヲ發セ^ヲ氏ハ算ヨリ習フ
モ長男氣ナシナトノ癖案ヨリ徒ニ年月ヲ過シ遂ニ
一生無算ニ終ルモノアリ惜ムヘキナリトテ此書
ヲ著述セリ^ヲ女子供ニテモ此書ニ就テ學ヒナハ三日
ノ間ニ合点ノユク様ニナルベシ實ニ日夕欠クベカ
ラサルノ珍書ナリ

書肆

日本橋四日市 和泉屋半兵衛

撰者伏テ四方ノ君子ニ告ケ奉ル本局既ニ 官前ヲ得テ新聞紙ヲ刊行ス
其旨意ハ前ニ述レ^レ如シ但奇事具聞耳目ノ及バ^レル處多^ク願クハ同好ノ人
何事ニヨラス其處々ノ新聞ヲ書集メ本局及ビ下ニ列スル賣弘處ニ寄セ玉
ハ次第ニ刊行發兌スベシ但寄玉フ書付ニ其住處姓名ヲ必ズ載セ玉フ
可シ無名ノ書ハ敢テ采入セズ無根ノ浮言造説アルヲ恐ルナリ

- 一切賣買ノ弘等望ニヨツテ出版スル事件
- 一田地山林家屋舟車等ノ賣買貸借
- 一產物器具食品藥劑等一切ノ賣買
- 一諸船ノ入湊出帆積荷ノ物件等
- 一店ヒラキ新規賣出等ノ引札
- 一觀セモノ集會等ノ引札
- 一失物尋物等
- 一金銀其外ノ貸借等
- 右等何レモ一行廿三字ニ度出板價三匁宛同事件ニ度分ハ九匁五分
- ニテ御引受イタシ候

新聞雜誌定價一號銀二匁 每週出板

當時發兌號ヨリ先キ二十冊分引受候向ハ定價ヨリ二割引
同四十冊分ハ三割引

右定ノ通約定前金受取候上ハ毎號發兌順序ヲ逐ヒ本局ヨリ御届致
候又遠方取次賣弘方望ミ人ハ本局御引合上御相談可申候

本局

東京兩國若松町

新 堂

東京兩國横山町三丁目

和泉屋金右工門

東京芝三島町

和泉屋市兵衛

大塚齋橋通

河内屋吉兵衛

西京東洞院三條七丁目

村上勘兵衛

東京日本橋通壹町目

須原屋茂兵衛

大塚心齋橋通

河内屋喜兵衛

大塚心齋橋通壹町目

河内屋清七

東京日本橋

和泉屋壯造

